

授業科目 健康科学論

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	看護
塚本 康子、丸山 敦夫、能登 真一		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：G10】 健康の概念、目標、発展を認識し、健康を主観的、客観的側面から総合的に捉えることの意義について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 (1) 看護の対象である人を理解するために、疾病および生活という異なる観点からの健康観や概念を理解する。 (2) 健康と看護との関わりを種々の角度から学び、看護のあり方を考える。 (3) 健康の科学的捉え方や研究法について学ぶ。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	健康観と健康の概念			1	講義
2	ライフサイクルにおける健康と健康教育			1.3	講義
3	健康の評価 (ICF, ADL, QOL)			1.3	講義
4	医療経済			1.3	講義
5	健康と病気のセルフケア			1.2	講義、担当：塚本 康子
6	行動・生活・人間関係の健康影響			2	講義、担当：塚本 康子
7	健康・保健、医療、福祉における看護の課題			2.3	講義、担当：塚本 康子
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		後日指示する			
その他の資料		その都度配布する。			
【評価方法】 レポート課題			【履修上の留意点】 受け身ではない積極的な参加を望む。		